

平成 28 年度 第 1 回 ミニリハ連（白石・厚別・清田・江別・北広島・恵庭・千歳地区）

日時：平成 28 年 10 月 6 日（木） 19：00～20：30

場所：厚別区民センター視聴覚室

参加者：19 名（+子ども 2 人）

テーマ：「その人らしい生活を阻害する痛みに対しての介入」

今回は痛みによって生活に支障をきたす利用者さんに、どのように対応しているか、皆さんと考える機会として開催しました。リハスタッフ以外にケアマネジャーも参加されました。話題提供として、新札幌パウロ病院 訪問リハビリテーション事業の作業療法士 竹中 準さんより、痛みの概論・治療戦略について、特に神経因性疼痛と心因性疼痛へのアプローチについてと、参加者に触覚識別課題の実技や実際介入した事例の紹介をしていただきました。また、訪問看護ステーション のっぽろの理学療法士 河野育子さんより、今回のテーマのきっかけになった、痛みにより難渋している事例への対応で、多職種との連携についてと、訪問リハビリでの介入では、利用者さんに痛みを受け入れてもらいながら活動に繋げていったという報告していただきました。その後グループワークで疼痛のある利用さんにどのような介入をされているかディスカッションしていただきました。生活期の慢性疼痛へのフォローは多職種でチームアプローチが大切との意見があり、慢性の痛みで直接的改善が困難な方でも、痛みと向き合いながら活動や参加の向上を目指せることや、慢性的な難治性疼痛については、身体情動や身体知覚の異常への介入で改善の可能性があることを学べたと思います。

また、今回は Kid's スペースを設けて、お子さんがいらっしゃる方も参加しやすくなるよう工夫してみました。今後も参加しやすい連絡会を目指したいと思います。

